

日本サウンドスケープ協会

第24回（2016年度）通常総会

日 時：2016年5月28日（土）16:00～17:30
会 場：青山学院大学総合研究所ビル（14号館）14509教室

【議 案】

●第1号議案 2015年度事業報告および決算

2015年度事業報告案 [資料1]

2015年度決算案 [資料2]

2015年度監査報告 [資料3]

●第2号議案 2016年度事業計画および予算

2016年度活動方針ならびに事業計画案 [資料4]

2016年度予算案 [資料5]

[資料1] 2015年度事業報告案

1. 2015年度会員状況

2016年5月25日現在 ()内は2015年5月15日時点

総会員数 185名(190名)

内訳

一般会員164名(170名)

6名減：入会1名、退会8名、学生会員から一般会員への変更1名

学生会員名16名(15名)

1名増：入会2名、退会0名、学生会員から一般会員への変更1名

賛助会員 0団体(0団体)

団体会員 5団体(5団体)

2. 総会・シンポジウムの開催

・総会

日時：2015年5月23日(土) 13:00～14:30

会場：日本大学生産工学部39号館601号室(スプリングホール)

・シンポジウム ー劇空間の音風景 声による演出から見る古今東西の世界観ー

日時：2015年5月23日(土) 15:00～17:40

会場：日本大学生産工学部39号館601号室(スプリングホール)

概要 講演

山形治江「ギリシャ劇におけるコロス(合唱舞踊団)の役割」

増野亜子「インドネシア・バリ島の歌芝居アルジャにおける声と身体」

梅田英春「バリ島の人形影絵芝居ワヤンにおける人形遣いダランの声」

質疑応答 司会：塩川博義

3. 例会の開催

下記の通り、1回実施した。

・「音からはじまる街づくり-変わりつつある大分の街とサウンドスケープ-

日時：2015年6月13日(土)・14日(日)

会場：ホルトホール大分 2階 セミナールーム + 大分市街

備考：ホルトホール大分との共催

登壇者：八坂千景 河原一彦 船場ひさお

4. 研究発表会の開催

- ・春季研究発表会

日時：2015年5月24日（日）9:30～13:30

会場：青山学院アスタジオ 多目的ホール

内容：一般報告3件、企画（青学2つの研究室からの）報告2件、ラウンドテーブル

参加者：46名（会員28名、非会員（青学生）18名）

共催：青山学院大学教育人間科学部 吉仲研究室、総合文化政策学部 鳥越研究室

実行委員会：箕浦一哉（委員長）、吉仲淳、鈴木秀樹

- ・秋季研究発表会

日時：2015年12月12日（土）13:30～17:00

会場：関西大学千里山キャンパス第3学舎 A202 教室

内容：一般報告2件、企画報告3件

参加者：20名（会員14名、非会員6名）

実行委員会：大門信也（委員長）、上野正章、箕浦一哉

4. 研究会活動への助成等

下記のワーキング・グループおよびプロジェクトに助成をおこなった。

（サウンドエデュケーションWG、まち・音・ひと・ねっとWG、震災プロジェクト）

- ・サウンドウォーク（川崎大師風鈴市）
- ・プレ例会「絵画の音を聴く～絵画とサウンドスケープの交点～」（東京都美術館）
- ・市民参加による“音の絵はがき”づくりワークショップ（波崎／木之本）
- ・東北地方定点観測

5. 広報活動ならびに関連事業として

- ・協会ウェブサイトのリニューアル・コンテンツの充実
旧ウェブサイトのダウンに伴い、サーバーの移転および仕様を全面的に変更した。
- ・各種メーリングリストの運営
- ・フェイスブックの運営（一般公開用・会員専用）を開始

6. 記録整備

- ・協会活動アーカイブの整備・公開の推進
オンライン版協会誌を誰でもウェブページで閲覧できるようにした。
- ・協会誌『サウンドスケープ』のバックナンバー（1巻～13巻）の管理一本化し、その在庫を確認し、販促用にウェブページにアップした。

7. 20周年記念事業

- ・協会ウェブページ掲載用の20周年展コンテンツ

「協会の活動からみるサウンドスケープの世界」を制作・公開した。

8. 協会誌の発行

- ・『サウンドスケープ』第16巻を発行した。

9. 国内外の団体との連携・交流

- ・例会等を通じての実施：例会をホルトホール大分と共同主催しました。

10. その他

- ・第1回常務理事会

日時：2015年09月07日（月）

会場：青山学院大学総合研究所ビル第12会議室

- ・第2回常務理事会

日時：2015年12月22日（火）

会場：青山学院大学総合研究所ビル第12会議室

参考資料：各委員会等からの事業報告は別紙資料を参照。

学術事業運営委員会・・・・・・・・・・ [参考資料1]

コンテンツ事業運営委員会・・・・・・・・ [参考資料2]

協会誌編集委員会・・・・・・・・・・ [参考資料3] ※提出時期の関係で本議案とは一部齟齬あり

JASE委員会・・・・・・・・・・ [参考資料4]

研究会・・・・・・・・・・ [参考資料5]

[資料2] 2015年度決算案

日本サウンドスケープ協会
2015年度決算案

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	内訳	決算-予算	備考
会費収入	1,175,000	1,195,000		20,000	
一般会員	1,020,000		1,038,000	18,000	173名分(未払金清算・次年度以降前受金含む)
学生会員	45,000		45,000	0	15名分(未払金清算・次年度以降前受金含む)
賛助会員	-		0	0	
団体会員	30,000		18,000	-12,000	3団体分(未払金清算・次年度以降前受金含む)
JASE委員会	44,000		58,000	14,000	29名分(未払金清算・次年度以降前受金含む)
会費前受け金	36,000		36,000	0	一般5名分、学生2名分
事業収入	20,000	6,830		-13,170	
コンテンツ事業	-		0	0	
例会	-		0	0	
総会・シンポジウム	-		0	0	
学術事業	20,000		6,830	-13,170	秋季研究発表会資料代(500円×6)、バックナンバー販売(3,830円)
JASE委員会	-		0	0	
ワーキンググループ	-		0	0	
企画運営	-		0	0	
雑収入	300	1,684	1,684	1,384	別購(1,000円)、手数料返金(648円)、利子(36円)
今年度収入合計	1,195,300	1,203,514	1,203,514	8,214	
前年度繰越金	1,323,826	1,323,826		0	
収入合計	2,519,126	2,527,340		8,214	

支出の部

科目	予算額	決算額	支出額	決算-予算	備考
事業費	770,000	350,737		-419,263	
企画運営:シンポジウム	80,000		71,580	-8,420	講師謝礼(15,000×3名)、講師交通費(16,580円)、総会アルバイト(5,000円×2名)
企画運営:例会	100,000		4,474	-95,526	会場費(4,474円)
コンテンツ:調査・編集	120,000		0	-120,000	
研究会:WG等への助成	120,000		109,912	-10,088	まち・ひと・音・ねっとWG(30,000円)、サウンドエデュケーションWG(1,500円)、震災プロジェクト(78,412円)
協会誌編集	120,000		46,871	-73,129	14巻製本費10冊分(21,146円)、15巻製本費10冊分(25,725円)
学術運営:研究発表会	75,000		48,032	-26,968	研究発表会関連印刷(11,492円)、春季研究発表会文字起こし(18,000円)、秋季研究発表会経費(18,540円)
活動推進:推進・広報	120,000		44,096	-75,904	ウェブサーバー移転費(24,278円)、サイト用テキストの印刷費(19,818円)
JASE委員会活動	35,000		25,772	-9,228	JASE会費(振込手数料込)
管理費	410,000	207,706		-202,294	
事務局管人件費	120,000		53,000	-67,000	4月~7月事務局員人件費(53,000円)
人件費	30,000		0	-30,000	
交通費	20,000		0	-20,000	
会議費	30,000		0	-30,000	
通信連絡費	70,000		47,316	-22,684	2015年度総会案内郵送費(22,200円)、理事選挙投票返信費等(15,624円)、運搬費(9,492円)
ウェブサーバ費	80,000		64,800	-15,200	ウェブページ保守管理費(64,800円)※年度中に契約終了。
印刷費	50,000		3,504	-46,496	総会資料(2,740円)、出欠はがき印刷費(764円)、
雑費	10,000		39,086	29,086	インク(1,782円)、封筒(2,523円)、糊(237円)、はさみ(324円)、データ記録用ハードディスク(9,380円)、振込手数料(6,192円)、返金(18,648円)
2015年度支出合計	1,180,000	558,443	558,443	-621,557	
次年度への繰越金額	1,339,126	1,968,897		629,771	
支出合計	2,519,126	2,527,340		8,214	

上記の決算書類について監査を行い、収入・支出とも正確に記帳整理されていることを認める。

平成28年5月24日

監事署名

江和朝
沖山文敏

[資料3] 監査意見

2015年度日本サウンドスケープ協会 監査意見書

2016年5月25日

日本サウンドスケープ協会
理事会 御中

私たち日本サウンドスケープ協会監事は5月24日、協会事務局（青山学院大学教育人間科学部吉仲研究室）内において事務局長との面談、ならびに提出された決算書等の関連資料に基づいて、2015年度の協会活動について、その財務および活動の状況を監査いたしました。

2015年度初頭において規則改正を伴った改変とともに、新たに設置された活動推進委員会を中心とした改革が行われた初年度として、協会の運営は概ね適切であり、その決算書は協会の収支状況を正しく示していることを認めます。

収入はそのほとんどが会費収入ですが、今年度は事務局で行われた滞納者に対する取り組みの成果もあり、会費収入として予算額を上回る結果となったことをまず評価します。かねてより課題だった決算書の作成方法についても、その科目分けが各委員会活動に則したものとなったため、大変分かりやすいものとなりました。また、昨年度の監査において指摘した財務管理に関しては、協会の主たる財産である協会誌バックナンバーの管理・把握については目覚ましい改善が見られたことを評価します。また備品等のリストを作成したとの報告も受けました。一方、次年度以降は、以下の点について、一層の改善・努力されるよう期待します。

学生会員への対応については、今後は学生会員としての単年度承認など、規則を新たに制定する等の工夫を試みられることを求めます。

支出については、科目ごとに予算の消化状況に著しいばらつきがみられました。今年度試験的に導入された各委員会等からのボトムアップ型のやり取りを通じて、各委員会を中心に担当する事業計画と予算のつくり方を引き続き改善し、年度途中にもその達成具合を随時確認しつつ、必要に応じて見直していく等、一層の改善を求めます。

予算が消化されていないということは協会活動の停滞を意味します。その活性化のため、一連の制度改革を実施しつつあると理解していますので、各事業運営委員長等が今後、他の理事や会員と共に協会活動を適切に牽引していくことを期待します。同時にまた、常務理事会がその検討項目として掲げている「25周年に向けての協会の在り方」についても、その議論が活発に展開されることを望みます。

以上

監事 入江 和朗
監事 沖山 文敏



[資料4] 2016年度活動方針ならびに事業計画案

1. 2016年度活動方針

- 1) 新しい活動推進体制での協会運営
- 2) 全協会員のための研究活動の促進と環境整備
- 3) 協会資源（人的／物的）の発掘、管理、および有効利用
- 4) 協会の在り方と将来構想の検討

2. 総会・シンポジウムの開催

- ・総会（主担当：活動推進委員会）
日時：2016年5月28日（土）16:00－17:30
会場：青山学院大学総合研究所ビル 14509 教室

- ・シンポジウム（主担当：企画運営委員会）
タイトル「東京水系のサウンドスケープ：都市と社会のリ・デザイン」
日時：2016年5月29日（日）14:00－17:00
会場：青山学院アスタジオ 多目的ホール
登壇者：鳥越けい子、神谷博、高見公雄、鷺野宏 司会：吉仲淳
共催：青山学院大学 総合文化政策学部鳥越研究室、教育人間科学部吉仲研究室
実行委員会：鳥越けい子、吉仲淳、鷺野宏

3. 例会の開催（主担当：企画運営委員会）

- ・絵画の音を聴く～美術とサウンドスケープの交点～
日時：2016年07月31日（日）13:30－16:30
会場：東京都美術館
実行委員会：神林哲平（委員長）、鈴木秀樹、兼古勝史、土田義郎、小菅由加里、小林田鶴子
（サウンドエデュケーションWG）
共催・後援等：未定

- ・高尾（多摩森林科学園）虫聞之会（仮）
日時：2016年09月17日（土）13:30－17:00

会場：森林総合研究所・多摩森林科学園

実行委員会：大谷英児（委員長）、兼古勝史、大庭照代、柳沢英輔、伊藤精英（自然の響きを聴く会WG）

共催・後援等：未定

4. 研究発表会の開催（主担当：学術事業運営委員会）

- ・春季研究発表会

日時：2016年5月29日（日）10:00-13:00

会場：青山学院アスタジオ 多目的ホール

実行委員会：箕浦一哉、上野正章、吉仲淳

- ・秋季研究発表会

日時：2016年12月を予定 詳細未定

5. 広報活動ならびに関連事業（主担当：活動推進委員会）

- ・協会ウェブサイトのコンテンツ充実や

Facebook等に活用により基礎的な発信力強化をはかる。

- ・各種メーリングリストの運営

- ・サウンドスケープの社会化に向けて、協会員内外の交流会や研究会を企画・実施する。

6. 研究会活動への助成と活動の公開（主担当：研究会）

- ・ワーキンググループには3万円程度を助成し、震災プロジェクトには5万円程度を助成し、サウンドスケープに関する活動を推進する。

なお、助成するグループの採択や実際の助成額は、予算を勘案しながら常務理事会でおこなう。

- ・ワーキンググループやプロジェクトの活動を会員内外に広く発信するため、ウェブページへの一覧と紹介文の掲載をおこなう。

- ・協会内におけるプロジェクトの位置づけについては引き続き検討する。

7. 記録整備（主担当：コンテンツ事業運営委員会／活動推進委員会／各実行委員会）

- ・協会活動アーカイブの整備・公開の推進

8. 20周年展コンテンツ書籍化事業（主担当：20周年展コンテンツ社会化プロジェクト（仮称））

- ・20周年展でのコンテンツの書籍化等に向けたプロジェクトを立ち上げ、活動を開始。

9. 協会誌の発行（主担当：協会誌編集委員会、学術事業運営委員会）

- ・年度内2回発行の予定

10. 国内外の団体との連携・交流

- ・協会主催企画やJASE委員会等を通じて内外団体との連携・交流を進める。

11. サウンドスケープ研究の推進（主担当：学術事業運営委員会）

- ・サウンドスケープ研究の推進をおこなう共同研究プロジェクトのために会議費等の補助をおこなう。

12. その他

- ・常務理事会は3回程度を予定

参考資料：各委員会等からの活動方針・事業計画は別紙資料を参照。

学術事業運営委員会・・・・・・・・・・ [参考資料1]

コンテンツ事業運営委員会・・・・・・・・ [参考資料2]

協会誌編集委員会・・・・・・・・・・ [参考資料3]

JASE委員会・・・・・・・・・・ [参考資料4]

研究会・・・・・・・・・・ [参考資料5]

[資料5] 2016年度予算案

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	内訳	備考
会費収入	1,135,000		
一般会員		1,020,000	170名分×6000円
学生会員		45,000	15名分×3000円
賛助会員		0	
団体会員		30,000	5団体分×6000円
JASE委員会		40,000	20名分×2000円
会費前受け金		0	
事業収入	26,000		
コンテンツ事業	-	0	
企画運営(例会)	-	0	
企画運営(シンポジウム)	-	0	
学術事業		6,000	研究発表会資料代
協会誌編集		20,000	バックナンバー販売
JASE委員会	-	0	
活動推進	-	0	
ワーキンググループ	-	0	
企画運営	-	0	
雑収入		40	利子
今年度収入合計	1,161,000	1,161,040	
前年度繰越金	1,968,897		期首残高：郵便口座1,865,970円、小口現金22,855円、銀行口座78,486円、他1,586円
収入合計	3,129,897		

支出の部

科目	予算額	支出額	備考
事業費	885,000		
企画運営(シンポジウム)		100,000	講師謝礼、講師交通費、総会アルバイト、フライヤー・案内版印刷加工費、記録・文字起こし費等シンポジウム開催・記録経費
企画運営(例会)		120,000	会場、謝礼、アルバイト、記録・文字起こし等例会開催・記録経費(60,000円程度×2回想定)
コンテンツ事業：記録・保存・発信		70,000	記録・保存・編集費
研究会：WG等への助成		140,000	ワーキング・グループへの補助(30,000×3件)、震災プロジェクト(50,000×1件)
協会誌編集		120,000	編集、取材謝礼、デザイン外注費、製本費等
学術事業(研究発表会)		80,000	研究発表会経費(会場費、資料作成費、アルバイト費、記録・文字起こし費)
学術事業(研究推進)		50,000	サウンドスケープ研究の推進をおこなうための共同研究プロジェクトの会議費等の補助
活動推進：推進・広報		120,000	協会活動の推進と情報発信のための経費
20周年展コンテンツ社会化		50,000	20周年展コンテンツの書籍化等推進のための経費
JASE委員会活動		35,000	JASE会費(振込手数料込)
管理費	275,000		
人件費		100,000	アルバイト謝礼等的人件費・交通費
会議費		30,000	常務理事会等事務局扱い会議費(会場費、資料費)
通信連絡費		45,000	2016年度総会案内郵送費、運搬費等
ウェブサーバ費		30,000	ウェブページサーバ費、ドメイン維持費等
印刷費		30,000	会議資料印刷等
雑費		40,000	インク、封筒、消耗品、振込手数料等
2016年度支出合計	1,160,000	1,160,000	
次年度への繰越金額	1,969,897		
支出合計	3,129,897		

[参考資料 1]

2016/5/1

学術事業運営委員会 2015 年度事業報告および 2016 年度事業計画案

箕浦一哉

1. 2015 年度事業報告

1-1. 事業実績

(1) 研究発表会の開催

- ・ 春季研究発表会
 - ・ 日時：2015 年 5 月 24 日（日）9:30～13:00
 - ・ 場所：青山学院アスタジオ
 - ・ 内容：一般報告 3 件，企画報告 2 件，ラウンドテーブル
 - ・ 参加者：46 名（会員 28 名，非会員（青学生）18 名）
- ・ 秋季研究発表会
 - ・ 日時：2015 年 12 月 12 日（土）13:30～17:00
 - ・ 場所：関西大学第 3 学舎
 - ・ 内容：一般報告 2 件，
 - ・ 参加者：20 名（会員 14 名，非会員 6 名）

(2) 協会誌の査読体制の整備と運営

- ・ 投稿論文への対応
 - ・ 投稿論文 1 件の査読手続きを行った。結果は不採択の結論となった。
- ・ 投稿規定・査読手続き等の見直し
 - ・ 投稿論文に関する投稿規定・査読手続き等の見直しを行った。

(3) サウンドスケープ研究の推進

- ・ 共同研究を企画し科学研究費を申請した。審査結果は不採択であった。

1-2. 活動の総括

- ・ 学術事業運営委員会として 1 年あまりの活動を重ねた。委員会としての運営体制をおおむね整えることができた。
- ・ メーリングリストでの協議のほか、会議を 5 月・12 月の研究発表会の際と 3 月の 3 回開催した。
- ・ 以前からの継続的な活動として、2 回の研究発表会、投稿論文の査読を行ったほか、新しい試みとして共同研究の企画を進めた。
- ・ 共同研究については科学研究費の申請をおこなった。不採択となったが、今後の共同研究推進のための足がかりをつくることができた。

- ・投稿論文や研究発表会での発表件数が少ないことは課題である。魅力的な研究成果がコンスタントに発信されること自体が新しい研究を呼ぶと思われるので、共同研究などを通じた成果の発信を促進したい。

2. 2016 年度事業計画案

(1) 研究発表会の開催

- ・春季研究発表会
 - ・日時：2016 年 5 月 29 日（日）10:00～13:00
 - ・場所：青山学院アスタジオ
 - ・内容：一般報告 4 件
- ・秋季研究発表会
 - ・日程：2016 年 12 月を予定
 - ・場所：未定

(2) 協会誌の査読体制の整備と運営

- ・協会誌に投稿される学術論文について査読を実施する
- ・協会誌への論文投稿を促す取り組みをする

(3) サウンドスケープ研究の推進

- ・共同研究事業を協会プロジェクトとして実施する
- ・2016 年度予算
 - ・研究発表会：昨年並み
 - ・共同研究（協会プロジェクト）：3 万円
 - ・会議費として：有料会場を使う場合の会場費などを想定、できるだけ使用しない

以上

[参考資料 2]

2016 年 5 月 1 日

コンテンツ事業運営委員会からの報告

柳沢英輔

1. 2015 年度報告

1) 活動報告

- ・協会活動（シンポ、研究発表会、ワークショップなど）を記録した映像を YouTube などの動画配信サイトで公開する指針と方法について意見を交換した。また協会活動の内容をリアルタイムで配信する可能性についても検討した。映像の配信は著作

権や肖像権が問題になるため、事前に各企画の実行委員会が発表者、講演者などに対して、動画撮影の許諾だけでなく撮影した動画を Web 上で公開する許諾を取る必要性が確認された。

- ・ YouTube に協会の公式チャンネルを開設した（現在、仮運用中）

2) 活動全体の総括

2015 年度より常務理事となり、運営委員の打診を経て実質的に委員会が発足したのが秋頃となった。手探りで進めているが、委員会としての会合も現在までのところ一度しか開催できておらず、まだその役割を十分に果たせていないというのが正直な実感である。2016 年度は映像の記録と共有化について話し合い、他委員会や事務局とも連携しながらその具体的な指針を作成したい。

2. 2016 年度計画（案）

- ・ 映像の記録と共有化に関する指針と具体的な方案を作成し、提案する。
- ・ YouTube の協会公式チャンネルを公開し、映像をアップロードする。
- ・ YouTube 協会公式チャンネルの管理、運営を行う。
- ・ YouTube 協会公式チャンネルと協会ホームページ、Facebook や Twitter などとの連携を進める。

[参考資料 3]

2016 年 5 月 1 日

編集委員会からの報告

鈴木秀樹

1. 2015 年度報告

1) 活動報告

2015 年度の協会誌サウンドスケープ 16 巻の編集を進めたが、取り扱う記事が 2013 年度のものということもあり編集が難航。5 月 1 日現在、第 1 号を発行できていない。

2) 活動全体の総括

2013 年度、2014 年度の積み残してあった原稿を協会誌に掲載し、2015 年度のものまで組み込んで「借金」をゼロにすることを目標としたが、その目標は未だ達成できていない。シンポジウムにしても研究発表会にしても、終わってしまったイベントを後から原稿化することは非常に困難なので、各実行委員会との事前の打ち合わせが肝要であることを通関した。

2. 2016 年度計画（案）

- ・ 2015 年度のサウンドスケープを一刻も早く発行する
- ・ 2016 年度のサウンドスケープ発行のために、各イベントの前に実行委員と原稿化についてよく打ち合わせをしておく。

[参考資料 4]

May 1, 2016

JASE (国際委員会)

今田匡彦

I. 2015 年度活動報告

- 1) WFAE (World Forum for Acoustic Ecology) Online News Letter への SAJ (2014–2015) の活動報告の英訳と掲載
- 2) Soundscape: The Journal of Acoustic Ecology の今後についての検討: 印刷、梱包、発送等にかかる予算の問題から online journal への移行が International Board にて検討され概ね了承された。
- 3) 2015 年 7 月 10 日 11 日にオーストラリアの the Queensland Conservatorium にて開催された Sonic Environments Conference 2016 への WFAE Endorsement の承認 (JASE を含む 7 つの affiliates が承認)。
- 4) WFAE Vice-presidents 選挙で Eric Powell, Leah Barclay の推薦があり、承認された (JASE も承認)。
- 5) 次号 WFAE Online News Letter へ SAJ から以下のエッセイを寄稿した: “Essays based on the lectures presented at the Commemorative Symposium for the 20th Anniversary of the Soundscape Association of Japan: Exploring the Horizon of Soundscape”

II. 2016 年度計画案

昨年度同様、WFAE へのさまざまな対応と、日本からの発信。

以上

[参考資料 5]

2016 年 4 月 30 日

研究会担当からの報告

小菅由加里

1. 2015 年度報告

1) 活動内容

- ・ ワーキンググループ (以下、WG) のあり方について、常務理事会にて協議。今後、協会全体の活性化に繋げるためにも、協会員が WG の活動に興味を示し、積極的に活動に参加できるような仕組みづくりの必要性が確認された。

- ・ 上記の仕組みづくりの第一歩として、協会ホームページ（以下、協会 HP）に WG の情報を掲載する方針が打ち出され、各 WG には、活動目的や活動内容等について記載した紹介文を提出していただいた。

2) 活動全体の総括

2015 年度より常務理事となったが、自身の担当についても常務理事としての役割（求められているもの）についても、未だ手探りの状態であるというのが正直な実感である。2016 年度は、各 WG の活動実態を把握し、活発な研究会活動を推進するためのより具体的な方策を提案していきたい。

2. 2016 年度計画（案）

- ・ 各 WG の一覧および紹介文の協会 HP への掲載。
- ・ 上記紹介文の掲載の際には、各 WG への入会方法についても明記する方向で検討したい。
- ・ WG 設立申請書と助成申請書の差別化の推進（現状では、両者は同じ書式になっている）。
- ・ 活動のオープン化を推進するため、協会 HP、メーリングリスト、Facebook 等にて、各 WG が行うイベント等の開催予告や報告などの情報を積極的に発信していく。

以上